



新本っ子

学校通信 No. 18
令和5年6月発行
新本小学校

【学校教育目標：豊かな人間性をもち、実践力のある子どもを育成する】 令和5年6月29日

新 自分で考える子 **本** 本気で取り組む子 **義** きまりを守る子 **民** みんな仲良く元気な子

落語の楽しさ味わったよ！ ～芸術鑑賞会～

26日(月)、落語家の三遊亭兼好(さんゆうていけんこう)さんにご来校いただき、全校で落語鑑賞会を行いました。優れた芸術に直接ふれることをねらいに、例年芸術鑑賞会を実施していますが、伝統的な話芸の一種である落語の鑑賞会は今回が初めとなりました。



始めに枕(本題前のお話)で、場の雰囲気や和らいだ中での鑑賞会(落語教室)となりました。そして落語の鑑賞は勿論、落語にまつわる様々なことを教えていただきました。落語では一人で何役もこなすこと、扇子と手ぬぐいで様々な様子を表すことなど、そばとうどんを食べ分ける、戸をたたく、歩く、会話するなどの実演を交えながら面白く説明していただきました。

また、落語は最後に落ちがつく特徴がある話であることを、楽しい小話を通して教えていただきました。その他、児童代表や先生代表も実際に高座に上がり、楽しく落語指導いただきながら落語体験を行いました。実際の落語鑑賞では、店主と奉公人とのコミカルな掛け合いを描いた「みそ豆」、知ったかぶりをする和尚さんの失敗を面白おかしく描いた「転失気(てんしき)」、縁日に出かけた親子のとぼけたやり取りを描いた「初天神(はつてんじん)」などの古典落語を巧みな話芸で分かりやすく演じていただき、落語の端々で楽しく大きな笑い声が起きました。児童全員で落語の世界に浸り、面白さや楽しさ、すばらしさを実感するよい機会となりました。



学校保健委員会【栄養教諭の先生の食育講話】



28日(水)、食育をテーマに学校保健委員会を開催しました。講師として、総社市地食学校給食センターえがおの栄養教諭の光畑 和美(みつはた かずみ)先生にご講話いただきました。給食センターでは毎日、市内の幼・小・中学校の給食7500食を作るため、衛生や栄養、温度、調理員同士の協力、確認など細心の注意や配慮を行っていることを動画を交えて具体的に教えていただきました。

また、栄養教諭の職務には、給食管理と食育があり、食育では、給食を生きた教材として、学校に訪問し、給食や授業の時間を通して各学年で系統的に指導に当たっていることなどを教えていただきました。子どもの心身の健やかな成長に資するための食育についての意識を高めることができました。